



2008年2月28日

各 位

会社名 イオンクレジットサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森 美樹
 (コード番号 8570 東証第一部)
 問合せ先 取締役財務経理本部長 玉井 貢
 (TEL 03-5281-2057)
 当社の親会社 イオン株式会社
 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号 8267 東証第一部)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年10月4日の中間決算発表時に公表した2008年(平成20年)2月期(2007年2月21日～2008年2月20日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(2007年2月21日～2008年2月20日)

(連結)

(金額の単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	185,000	41,000	41,200	20,700	131円92銭
今回修正予想(B)	181,100	33,400	33,300	18,000	114円71銭
増減額(B-A)	3,900	7,600	7,900	2,700	17円21銭
増減率(%)	2.1	18.5	19.2	13.0	-
前期実績(2007年2月期)	173,481	40,955	41,018	20,592	131円23銭

(個別)

(金額の単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	130,000	27,600	28,600	16,200	103円24銭
今回修正予想(B)	121,400	19,600	22,000	13,300	84円76銭
増減額(B-A)	8,600	8,000	6,600	2,900	18円48銭
増減率(%)	6.6	29.0	23.1	17.9	-
前期実績(2007年2月期)	125,169	30,478	31,627	17,902	114円09銭

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

- ・当期は、会員募集が好調に推移したことによりカードショッピング取扱高は順調に拡大いたしました。また、マレーシア現地法人の上場や中国での信用保証事業の開始、タイにおけるサービサー会社の設立など、引き続き海外事業が順調に拡大いたしました。個別業績予想の修正の影響により連結業績予想を修正するものであります。なお、海外事業における新たな取り組みとして、本年2月21日付けでフィリピンにシステム開発会社の設立登記をいたしております。さらに、ベトナムでの事業展開につきましても本年中の開始を目指してまいります。

(2) 個別業績予想の修正理由

- ・当期は、好調な会員募集や電子マネー型カードの発行等によりカードショッピング取扱高は順調に拡大いたしました。しかしながら、カードキャッシング取扱高は、景気の低迷や12月の改正貸金業法施行の影響によるキャッシング需要の低下等により、予想を下回る見通しとなりました。また、キャッシング債権残高におきましては、18%以下の金利への移行が計画を上回るペースで推移いたしました。その結果、将来の利息返還請求のリスクは低減しておりますが、営業収益は前回発表予想を86億円下回る見通しとなりました。
- ・営業利益は、営業収益の下振れに加え、新規事業への取り組みを強化したこと等により、前回発表予想を下回る見通しとなりました。これにより、通期の個別業績予想を修正するものであります。

3. その他

- ・配当金額の修正は予定しておりません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上